



社会福祉協議会情報

ふれあい

福智町社会福祉協議会

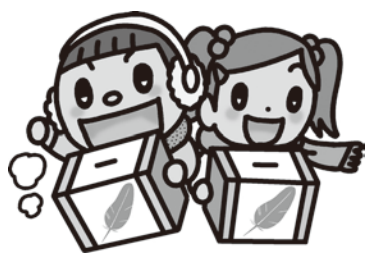
- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ・ 共同募金・東日本大震災義援金御礼 — 2・3 | ・ 生きがいデイサービスのご案内 — 6 |
| ・ 災害ボランティア養成講座報告 — 4 | ・ ふれあい交流事業のご案内 — 7 |
| ・ 福祉入門教室報告 — 5 | ・ 相談事業のご案内 — 8 |

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

社会福祉法人
福智町社会福祉協議会
役職員一同





赤い羽根共同募金運動に ご協力いただきまして 誠にありがとうございました

平成23年10月1日より12月31日まで、全国で赤い羽根共同募金運動が実施されました。

福智町での募金運動では、戸別募金・会社募金・街頭募金・学校募金などにご協力いただきまして誠にありがとうございました。集まりました募金は、福岡県共同募金会へ送金させていただき、来年度に配分金として福智町のさまざまな福祉事業に使われます。

募金の詳細につきましては、3月号のきずなだよりでお知らせいたします。期間中は、各行政区の区長さん、組長さん、また民生委員の皆さまに多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



10月から11月にかけて町内10カ所で街頭募金運動をおこないました。



福智町身体障害者福祉会では、毎年街頭募金にご協力いただいています。10月27日、スーパー川食の赤池店と方城店に分かれ募金活動をおこない、19,670円のご寄附いただきました。誠にありがとうございました。



福智町民生児童委員協議会では、福智町文化祭でチャリティーバザーの出店をし、その売り上げを赤い羽根共同募金に寄附いただいています。今年も11月5～6日に出店いただき、その売り上げ30,688円をご寄附いただきました。誠にありがとうございました。



東日本大震災への義援金を いただきました。

◎福智町ボランティア連絡協議会 40,386円



災害時支援ボランティア研修の様子

福智町ボランティア連絡協議会（会長：白石進さん）では、ボランティア活動の推進と、メンバーの資質向上を目的に定例会において学習会を実施しています。

特に本年度は、3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに、福智町においても災害時支援ボランティアの必要性を感じ、福智町より被災地に行った町職員の方を講師に学習会を実施しました。そこで、「福智町ボラ連として、実際に被災地に行ってボランティア活動はできないが、寄附という形のボランティアができるのでは」ということで会員に義援金を募りました。また別の機関を通じて義援金を送っている団体もあります。

◎昭和26年度方城中学校第6回生同窓会 20,473円



10月24・25日に昭和26年度（第6回）方城中学校卒業生の同窓会が開催されました。その席上で東日本大震災が話題にあがり、同窓会として少しでも被災者の支援につながればということで、参加者の皆さまより義援金をいただきました。

いただきました義援金は、中央共同募金会を通じて被災者の方々の支援に使わせていただきます。



ありがとうございます

使用済み切手でアジアの子どもたちの命を救おう 社会福祉協議会では使用済み切手を集めています



集められた使用済み切手は日本キリスト教海外医療協力会に送っています。会では1960年よりアジアを中心とする医療に恵まれない地域に医療従事者を派遣し、アジアの人々の健康づくりに協力しています。また各国で医療従事者を目指す人々の援助も続けています。



- ・切手の種類は問いません。普通の80円切手でもOKです。
- ・切手のまわりは5mm～1cmはなして切り取ってください。

集まった使用済み切手は社会福祉協議会事務局へお持ちください。

災害ボランティア養成講座 を開催しました

10月29日（土）10：00～16：00まで金田分館において、福岡災害ネットワークの酒井澄彦氏、財津充則氏を講師としてお迎えし開催しました。この養成講座は福智町で災害が起こったときに、被災地で支援をおこなうボランティアの育成、また大規模災害が起きた時に立ち上げられる災害ボランティアセンターのボランティアスタッフの育成を目的におこなっています。また地域の防災リーダーとして活動できる人材育成も目的としています。

午前の部

「災害とはこういったものなのか」を日本でおこった災害や福智町の土砂崩壊、また福智町を通る福智山断層を例に説明いただきました。

また災害時には「自助」「共助」がとても重要であること、各地域・地区での自主防災組織が必要であることなどを話されました。



福岡災害ネットワーク代表 酒井澄彦氏

午後の部

大規模災害発生時に設置される災害ボランティアセンターの運営演習を行いました。災害ボランティアセンターが福智町に設置されると、全国からボランティアが福智町にかけつけてきます。そういったボランティアと支援が必要な被災者をつないでいくのが、ボランティアセンターの役割です。演習では参加者がセンターの運営スタッフ・ボランティア・被災者に分かれて、本番さながらの雰囲気の中で演習をおこないました。

←写真（上）はボランティアの受付をおこなっている様子。写真（下）はボランティアと被災者の要望（ニーズ）を結びつけているところの演習です。



福智町社会福祉協議会では、今後も災害ボランティアや地域の防災リーダーの育成を目的とした研修会をおこなっていきたいと考えています。災害ボランティアには、「清掃・片づけ」「物資の搬入や搬出」「炊き出し」「被災者の話し相手や情報収集」「子どもの遊び相手や託児」などいろいろなものがあります。今後は「災害ボランティア登録制度」をつくり、多くの方に登録を呼びかけたいと思います。どうぞ今後の養成講座にご参加ください。

第2回 ～つながりあう・ささえあう福智町を目指して～

福祉入門教室を開催しました

福智町社会福祉協議会では、11月に4回にわたり福祉入門教室を金田分館にて開催いたしました。この教室は「ふくし」をテーマに、福祉に関心をもってもらおうと開催しています。内容を簡単にご報告します。



第1日目 ふくしに関心を ～ふくしって何？～ 山崎 安則 氏（筑紫女学園大学教授）

福祉入門教室第1日目ということで、『福祉』についてのお話から始まり、福祉の歩んできた歴史、デンマークの事例をもとに日本の『福祉』の現状の話や、地域での福祉活動の重要性、福祉教育の必要性などを話していただきました。

第2日目 あなたが主役！ 参加型で学ぶボランティアの基礎 今村 晃章 氏（NPO九州）

参加者は5～6人のグループに分かれ、「ボランティアとは何か」、「ボランティアのイメージはどういったものか」などの話をグループ内でしました。各グループで出た意見をもとに、今村先生より本来のボランティアの意義や目的、心構えやボランティアの楽しみ方などの話をしていただきました。



第3日目 福智町のふくし ～福智町再発見～ 犬養 光博 氏（元福智町民協会長）

犬養氏が1965年から46年間にわたってすごした福智町の歴史と自身の道すがらを照らし合わせながら、この福智町でみてきた「ふくし」の姿や、炭坑の町を次世代の人に伝えていくこと、この故郷の筑豊を誇れる子どもたちを育てていくことの大切さなどを話されました。

第4日目 ふくし討論会 ～あなたの思い・わたしの思い～ 加留部 貴行 氏（九州大学客員准教授）

計4回の入門教室のまとめとして、今回の入門教室で心に残ったこと、疑問に思っていることを5～6名のグループに分かれて参加者同士で話し合いをしました。地域での自主（サロン）活動を通じての見守り、また仲間づくりや活動を行うためのきっかけ作りなどわかりやすく説明していただきました。



生きがいデイサービスの のご案内

生きがいデイサービスは介護予防を目的とした事業で、家庭内に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者などを対象として、健康づくりや仲間づくり、趣味の教室での生きがいづくりなどを目的としておこなっています。



生きがいデイサービスでの作品を文化祭で展示



生きがいデイサービスでは趣味の教室として、絵手紙教室、レザークラフト教室、書道教室、フラワーアレンジメント教室などをおこなっています。11月5～6日におこなわれた福智町文化祭では趣味の教室で作り上げられた作品が並べられました。

◎対象者（次の①～④のすべてに該当する方）

- ①福智町在住
- ②65歳以上
- ③介護保険の要介護認定を受けていない方、または要介護認定において自立と認定された方
- ④実態調査・審査をおこない必要と認められた方

◎実施日・実施場所

- | | |
|-------------|---------------|
| 毎週 月曜・水曜・土曜 | 金田高齢者健康増進センター |
| 毎週 火曜・金曜 | 赤池コスモス保健センター |
| 毎週 木曜 | ふじ湯の里 |

※週に2回まで利用できます。

◎受けられるサービス

- ①食事（昼食のお弁当） ②入浴 ③健康チェック ④趣味の教室への参加
- ⑤バスハイクなどの行事への参加

◎利用料 1回400円

生きがいデイサービスに参加するには、役場福祉課にて申請・審査が必要です。詳しくは福智町社会福祉協議会（電話：22-3778）までお問い合わせください。



ふれあい交流（ミニデイ） のご案内

現在福智町でも、少子高齢化や核家族化が進み、地域での人々のふれあいや近隣との係わり合いの希薄化が進んでいます。住みなれたところで住民同士でたすけあい、安心して暮らせる地域をつくるために、まずは地域での交流をはじめてみませんか？

ふれあい交流では、毎月一回地域の公民館や集会所を利用して、主に 60 歳以上の方が集まり健康体操やゲームをしたり、映画を見たりしています。

ふれあい交流の内容は、世話人を中心として地域の皆さんで話し合いながら決めていきます。



大正町ふれあい交流

旧方城町で約 13 年前に始められたふれあい交流は、徐々に増えていき、現在では福智町の 44 地区で開催されています。現在ふれあい交流（ミニデイ）をおこなっている地域は下記のとおりです。



新門上ふれあい交流

犬 星	新門上	西古門	宝 珠	上金田	赤池隣保館
後 谷	新門下	野 添	前 村	神崎隣保館	赤池 11 区
上弁城	新 町	春 田	丸 山	太 陽	赤池 NT
久 六	大正町	東ヶ丘	見 六	人 見	市 場
草 場	鶴ヶ丘	東 区	矢久保	平 原	大 浦
迫	中 原	東長浦	八幡町		猿 田
浄万寺	中古門	東古門	山の手		高 尾
職員区	二川田	古門団地			天 郷

地区のふれあい交流には、役場人権同和対策課もしくは社会福祉協議会から担当者が 1 名つき、その運営のサポートをおこなっていきます。

「ふれあい交流」に関するお問い合わせは、
社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:22-3778
人権同和対策課（ほのぼの館） TEL:22-6290

社会福祉協議会の相談事業

どうぞお気軽にご相談ください



心配ごと相談

相談は無料、秘密は厳守します

家族の悩みや近隣とのトラブル、結婚・離婚問題などどんなことでも相談に応じています。社会福祉協議会で対応できる問題は直接対応していきますし、対応できない問題に関してもできるだけその他の対応できる機関を紹介いたします。

どんな問題でも、おひとりで抱えることは苦しいことです。問題を抱えている方は、おひとりで苦しまずお気軽にご相談ください。詳しい日程は「きずなだより」をご覧ください。

開催日 第1木曜日 10:00～15:00 福智町役場赤池支所
第2木曜日 10:00～15:00 福智町公民館万城分館
第3土曜日 10:00～15:00 金田社会福祉センター

司法書士特別相談（予約制）

司法書士による特別相談をおこなっています。相談の内容は相続・遺言、成年後見、債務整理、少額訴訟、消費者問題、登記など司法書士業務に関することです。相談は一人につき30分以内、予約制になります。希望される方は4日前までに電話にてお申込ください。

開催日 第3土曜日 10:00～15:00 金田社会福祉センター

予約・問合せ先 福智町社会福祉協議会 総務課 TEL: 22-6631

結婚相談

新規登録者募集中

素敵な出会いを求めているあなたへ。結婚アドバイザーの杉本数男さんが、結婚に関する相談をおうけします。秘密厳守、相談・登録は無料です。どうぞお越しください。

開催日 第1土曜日 10:00～17:00 金田社会福祉センター
第2土曜日 10:00～17:00 金田社会福祉センター
第4土曜日 10:00～17:00 金田社会福祉センター



問合せ先 杉本数男さん TEL: 090-9496-2058



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分金によって作成されています。

社会福祉協議会情報 ふれあい 第16号

平成24年1月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

所在地 〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2
TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678
ホームページ <http://wel-fukuchi.net/>